



プレマ(株)(中川信男社長・京都市右京区太秦組石町10の1)発売の天然除虫菊を素材に用いた蚊取り線香が、着色料や防腐剤など化学物質を使っていないため安全・安心にこだわる消費者の間で人気広がっている。優

しくて懐かしい香りも好評だ。人や家畜、ペットに無害で、乳幼児のアレルギーを気遣う保護者の利用も増えている。

商品名は「かえる印のナチュラルかとり線香」

## 昔ながらの蚊取り線香

発売プレマ

# 天然除虫菊が原料

(写真)。色も一般的な緑色ではなく、染料を使用していないため本来の自然な黄色がかった色をしている。

同社は「合成殺虫成分を含まない、昔ながらの

除虫菊の蚊取り線香を復活させたい」と、4年前から海外で無農薬栽培された除虫菊を原料にした蚊取り線香の製造を始めた。除虫菊は日本でも明治時代から昭和30年

には毒性を示すが、哺乳類や鳥類には影響しない特性がある。成分は子房の部分に含まれるが、機械で摘みとると茎の部分まで刈ってしまい不純物が多くなることから、同社ではすべて現地スタッフが手摘みしたものを原料として用いている。

代ごろまでは栽培され、合成殺虫剤が登場するまでは蚊取り線香や天然農薬の素材として使われていた。

有効成分のピレトリンは昆虫類や両生類、魚類

「市民運動的に地道に普及に努めてきたが、ようやく認知されてきた」と同社。価格は1箱30巻入り880円。問い合わせは同社(フリーダイヤル0120・51・6451)へ。